

国立劇場の長引く閉館は日本文化の創造・継承に大きな影響 今、舞台芸術の危機が進行している

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

伝統芸能の殿堂である国立劇場本館は 2023 年 10 月に再整備のため閉館した。さらに、2024 年から 2026 年にかけて多くの劇場、ホールが改修等のため使用不能となる。芸術家、実演家は表現と生活の場を失い、実演芸術の創造と継承や文化産業の危機に直面している。

伝統芸能から演劇、音楽、舞踊、演芸は、それぞれの表現形態に相応しい固有の舞台空間、機構・設備、楽屋、客席を有するホーム（本拠地）を持ち定期的に利用している。劇場は立地する周辺環境と愛好家、住民、国民に支えられ実演芸術の作品と担い手は育ち、継承され、発展していく。劇場・ホール等が無ければ実演芸術は成り立たない。

1) 国は、国立劇場を一日でも早く整備すること

歌舞伎、文楽、日本舞踊、雅楽、邦楽、演芸など伝統芸能の公演、継承と人材育成のホームである国立劇場本館（大劇場・小劇場）、国立演芸場等の再整備は 2 度にわたり工事入札が不調に終わり、再開場の見込みが立っておらず、その実現は 10 年後とも言われている。

国立劇場は、開場以来、歌舞伎、文楽の通や復活狂言など民間では実現困難な国立ならではの事業に取組み、雅楽、邦楽、日本舞踊、演芸にとっても貴重な継承の場であり、それを支える資料収集と調査研究と人材育成事業、運営・技術スタッフの存在は欠けがいのない日本の文化的資産である。

これら伝統芸能の継承・創造・発展のホームのこのような長期におよぶ空白は、先達から技芸を受け継ぎ、舞台上で公演し、人々に支えられる伝統芸能創造と継承に致命的な打撃を与える。古より伝わる日本文化の根幹にも凶り知れない影響を与えかねない。さらに来日観光が急速に回復する中、こうした舞台が無ければ、世界に希にみる多様な日本の実演芸術の発信・交流の絶好の機会を失うものである。

世界における日本の顔でもある国立劇場は、今まで以上に魅力ある劇場として国の責任で一刻も早く建設予算を確保し、整備すべきである。

2) 国立劇場群を代替劇場として確保し、芸術団体の活用拡大を

国立劇場の歌舞伎公演は新国立劇場中劇場が利用されている。文楽は都内の劇場を彷徨っている。劇場条件の違いがもたらす実演芸術への影響に加え、それでも国立劇場の尽力にもかかわらず代替劇場での本公演計画は 2019 年度日数比較で歌舞伎は約 42%減少、文楽は約 5%減少している。日本舞踊も新たな会場確保に奔走している。

このことは同時にこれまで利用してきた芸術団体の利用が狭められ、玉突き

ように他劇場にも波及している。さらに2024年からの劇場改修集中期にホームを失う公演が頻発する。国立劇場だけにとどまらない実演芸術界全体の問題に発展している。

この危機に対応するため、国立劇場群(国立劇場本館、国立演芸場、新国立劇場、国立能楽堂、大阪文楽劇場、国立劇場おきなわ)の運営方針を改め、搬入・仕込み・稽古・公演・撤去の回転を速めかつ利用時間帯延長など効率良く稼働させ、国立劇場群の利用可能日数を増やし、少しでもこの状況を改善することが必要である。同時に国立劇場群の劇場運営・技術スタッフ人員増が求められる。

このことは国立劇場群だけにとどまらず、不足する劇場技術スタッフの人材育成と確保にもつながり、劇場界全体の振興に有効である。

3) 能楽、歌舞伎、演芸、音楽、舞踊など本拠として機能する民間の劇場、能楽堂、寄席、ライブハウス、スタジオ、稽古場が活動継続できる基盤整備を

東京を中心に大都市には多様な実演芸術に対応した舞台空間、設備、客席等を有する民間の劇場・ホールが多数存在し、芸術創造のホームとして機能している。そしてホームで育まれた作品、芸術家、実演家が全国にも巡回している。

このような劇場・ホールの運営は、そもそも使用料のみで経済的に成立するのは困難で、企業の社会貢献、芸術事業者、団体の設置で運営されている。しかし企業の高収益化への経営改善、近年のコロナ危機、急速な物価上昇、大都市の地価高騰は固定資産税に影響し、ますます継続が厳しい状況に追い込まれている。都市の魅力に必要な文化芸術装置、劇場等への財政支援策あるいは固定資産税等の減免など、公共劇場との二輪として機能する基本的政策を採る必要があり、国と地方公共団体の連携が必要である。

4) 全国の公共劇場は地域に開かれ、芸術家が居る、人々が集う場として機能する方向の施策を

全国に点在するオーケストラは特定のホールと優先、或いは定期的な利用を行える環境を創り、その地、ホールに特徴づけられる音づくり、独自カラーをつくり出している。さらに学校から子どもたちを迎え、あるいは学校に出かけ、子どもたちへ鑑賞・体験などの公共的な活動を続けている。

全国の公共劇場は、域外も含め多様な実演芸術家、芸術団体との連携、実演芸術家、芸術団体が居る劇場、或いは定期的に利用出来る関係をつくり出す方向性をもつことが重要である。ことが重要である。

このことで地域の文化的創造力を高め、地域社会の誇りとなる、欠くことの出来ない、人々の集う劇場、住民に豊かな文化環境をつくる劇場を目指すことがますます社会にとって有効なものと考えられる。その実現のためには実演芸術家、芸術団体と地域社会を繋ぐ専門人材の配置が不可欠である。

地方公共団体は、劇場・ホールの設置者として、専門人材の配置や指定管理者制度の改善を含め、このような環境を創ること、国の劇場支援策もこの方向を目指すことが必要である。

以上、我が国の劇場問題は、日本の戦後復興、経済成長の過程で建設・整備さらえた劇場、文化施設が更新期に入った今、起こっている現象ある。

国は、国及び地域社会での劇場の役割を再確認し、公立、私立も含めた劇場等長期修繕・継続計画策定を求め、改修・改築について情報を広く共有し、空白が起こらないような代替劇場の準備も含め調整を出来る体制を構築することを要望する。

■近年に閉鎖された劇場、改修が予定される劇場

種類	ホール名	状況	席数	用途
ホール	朝日生命ホール	2005年閉鎖	650	コンサート、ミュージカル、ダンス、伝統芸能(邦楽、日本舞踊など)
中劇場	三百人劇場	2006年閉鎖	257	演劇、映画、落語
中劇場	シアターアプル	2008年閉鎖	700	演劇、ミュージカル、ダンス、コンサート、映画
大劇場	新宿コマ劇場	2008年閉鎖	2088	演劇、ミュージカル
小劇場	シアタートップス	2009年閉鎖	155	演劇
ホール	カザルスホール	2010年閉鎖	510	コンサート
ホール	厚生年金会館	2010年閉鎖	2062	コンサート、オペラ、ミュージカル、映画試写会
中劇場	東京都児童会館	2012年閉鎖	700	演劇、各種行事
中劇場	前進座劇場	2013年閉鎖	500	歌舞伎、演劇、落語
中劇場	ル・テアトル銀座	2013年閉鎖	772	演劇、ダンス、パフォーマンス
ホール	SHIBUYA-AX	2014年閉鎖	1697	コンサート
小劇場	タイニイアリス	2015年閉鎖	150	演劇、パフォーマンス
中劇場	青山円形劇場	2015年閉鎖	376	演劇、ミュージカル、コンサート
大劇場	青山劇場	2015年閉鎖	1200	演劇、ミュージカル、コンサート
ホール	津田ホール	2015年閉鎖	490	コンサート、オペラ
ホール	五反田ゆうぽうと	2015年閉鎖	1803	バレエ、ミュージカル、オペラ、コンサート
ホール	江戸博ホール	休館中/2022.4～2026改修	369/130	伝統芸能
大中劇場	さいたま芸術劇場	2022.10～2024.2改修	776/300/604	演劇、ダンス、コンサート
中劇場	シアターコクーン	休館中/2023.4～2027改修	747	演劇、ダンス
ホール	中野サンプラザ	2023.6閉鎖	2222	コンサート
ホール	宮崎県立芸術劇場(メディアキット県文化センター)	休館中/2023.8～2024改修	1818/1812	音楽、演劇
大中小劇場	東京国際フォーラム	2023.10～改修 各ホール順次		音楽、演劇、イベント
大劇場	国立劇場 大劇場	閉鎖中/2023.10～見込み立たず	1610	伝統芸能
中劇場	国立劇場 小劇場	閉鎖中/2023.10～見込み立たず	590	伝統芸能
中劇場	国立演芸場	閉鎖中/2023.10～見込み立たず	300	落語、演芸
ホール	新宿文化センター	休館中/2023.11～2025改修	776/300/604	音楽、バレエ、演劇
大小ホール	杉並公会堂	休館中/2024.1～2024.8改修	1190	音楽、演劇
能楽堂	横浜能楽堂	休館中/2024.1～2026.6改修	486	能楽、伝統芸能
ホール	三井住友生命しらかわホール	2024.2閉鎖	700	音楽
大中小ホール	府中の森芸術劇場	休館中/2024.3～2025.4改修	2027/510/466	音楽、演劇
ホール	川口総合文化センター	休館中/2024.3～2026改修	2002/600	音楽、伝統芸能
大小ホール	千葉県文化会館	2024.4～改修	1790 / 252	音楽
小劇場	こまばアゴラ劇場	2024.5閉鎖	60	演劇
中ホール	日本橋公会堂ホール(日本橋劇場)	2024.6～2025.10改修	440	伝統芸能
ホール	横須賀芸術劇場	2024.7～2026改修	1806	音楽、オペラ、バレエ
大中小劇場	東京芸術劇場	2024.9～2025.7改修	1999/834/324/270	音楽、演劇
ホール	江戸川区総合文化センター	2025.2～2026.7改修	1500	音楽、演劇
ホール	神奈川県民ホール	2025.4～休館/不明	2493	コンサート、オペラ、落語
中劇場	俳優座劇場	2025.4閉鎖	300	演劇
大劇場	帝国劇場	2025～建替	1897	演劇、ミュージカル
中小劇場	紀尾井ホール	2025.8～2026改修	800/250	音楽、伝統芸能
大小ホール	ティアラこうとう	2025.11～2027.9改修	1228/140	音楽、バレエ、演劇
中小劇場	世田谷パブリックシアター	2026～天井改修+2030大規模改修	600	演劇、舞踊
大中劇場	東京文化会館	2026～改修	2303/649	オペラ、バレエ、コンサート

*公表資料だけでなく芸団協独自調査(予定を含む)

*緑色は首都圏の2000席前後のオペラ・バレエ公演に利用されるホール/太字はこれから閉鎖される劇場

■近年に開場した劇場、開場が予定される劇場

種類	ホール名	ステータス	席数	用途
東京	東京有明アリーナ	2022.8開場	15,000	ライブ、イベント
大阪	高槻城公園芸術文化劇場	2023.3開場	1500/200/168	
東京	THEATER MIRANO-Za(ミラノ座)	2023.4開場	900	演劇、ライブ、イベント
東京	ZEP新宿	2023.4開場		ライブ、イベント
佐賀	SAGAアリーナ	2023.5開場	8,400	ライブ、イベント
富山	オーバード・ホール 中ホール	2023.7開場	652	
神奈川	Kアリーナ横浜	2023.9開場	20,000	ライブ、イベント
岡山	岡山芸術創造劇場ハレノワ	2023.9開場	1753/807/300	
大阪	茨木市文化・子育て複合施設 おにクル/ゴウダホール	2023.11開場	1200	
神奈川	港北区民文化センター(ミズキー・ホール)	2024.3開場	400	
愛知	PORT BASE(名古屋港)	2025.3開場	1000	ライブ、イベント
東京	高輪ゲートウェイシティ	2025.3開場	1200	
東京	港区立みなと芸術センター	2027開場	650	
兵庫	神戸文化ホール	移転/2027.12開場	1800	
東京	TOKYO TORCH HALL	2028年開業予定	2000	演奏会、ライブ、イベント
東京	TBS赤坂新劇場	2029年開業予定	1500	演劇、ミュージカル、ライブ

* Bリーグの本拠地として建設、イベント、ライブを年間80日予定

アリーナ	沖縄アリーナ	2021.4開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	太田アリーナ(群馬)	2023.4開場	5,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	SAGAアリーナ	2023.5開場	8,400	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	船橋(LaLa)アリーナ	2024.10開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	長崎アリーナ	2024.10開場	6,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	愛知国際アリーナ	2025.5開場	17,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	神戸アリーナ	2025.5開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	TOYOTA AREANA TOKYO	2025.9開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	あなぶきアリーナ香川	2025.4開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	港明アリーナ(名古屋港)	2026.9開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	三河新アリーナ	2026.9開場	5,000	ライブ、イベント、Bリーグ
アリーナ	川崎新アリーナ	2028.8開場	10,000	ライブ、イベント、Bリーグ